



地球温暖化に伴って大雨の発生頻度や降水量の増加が見込まれ、水害の激甚化が想定されています。このことから、国は平成27年5月に水防法を改正し、最大規模の降雨による最悪の事態を想定して「少なくとも命を守り、社会経済に壊滅的な被害が発生しない」ことを目標に社会全体で水害の危機感を共有していくこととしています。

発行：府中市 編集：行政管理部防災危機管理課  
〒183-0056 府中市寿町1-5 中央防災センター  
電話：042-335-4098 FAX：042-335-6395  
メールアドレス：bousai01@city.fuchu.tokyo.jp

## 水害は必ず発生する という意識を持つ



●想定最大規模降雨による浸水想定  
雨の降り方の特性が類似する地域（関東地方）で観測された過去最大の大雨（多摩川の流域で48時間の総雨量が588mm）の降雨があった場合に多摩川が氾濫すると、府中市は市域の約3分の1が浸水すると想定されています。府中市水害ハザードマップ【浸水想定区域図】は2面

※洪水により堤防が決壊して多摩川が氾濫したことをイメージした合成写真（是政～小柳町付近）  
※航空写真を利用して作成したイメージであり、この写真が示す場所において堤防が決壊が想定されている訳ではありません。

## 平成30年7月豪雨

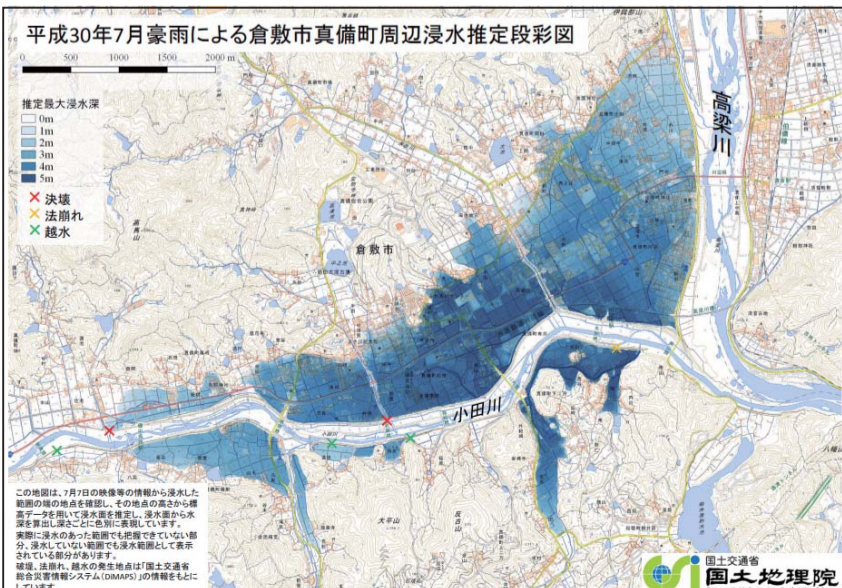
岡山県倉敷市が公表している洪水・土砂災害ハザードマップの浸水想定と実際の浸水被害が一致

### 倉敷市真備町の浸水被害

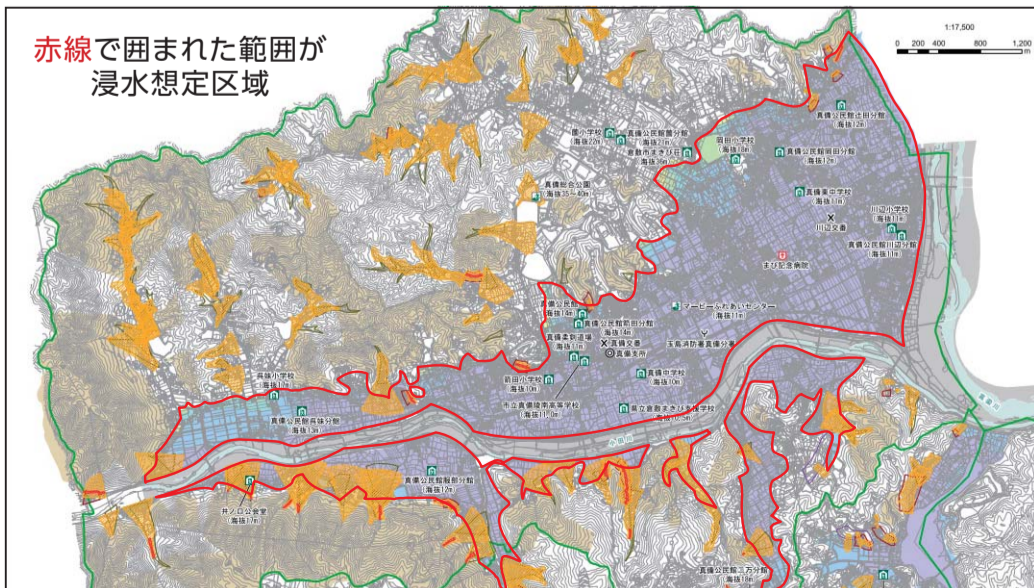
平成30年6月28日から翌月の7月8日まで西日本を中心に日本各地で断続的に降り続いた記録的な大雨の影響により河川が氾濫した岡山県倉敷市真備町では7月7日の未明に同市内を流れる小田川の堤防が決壊しました。この決壊による浸水被害は同市が既に公表していた水害・土砂災害ハザードマップが示す浸水想定区域の範囲とほぼ一致しています。

国土地理院では今回の倉敷市真備町で発生した小田川の氾濫による浸水域と、浸水の深さを示した浸水推定段彩図を公表しています。

この図は氾濫発生当時SNSに投稿された写真や動画に映り込んだ建築物などの情報を基に浸水した範囲や水深を算出したもので、浸水の深さは推定で最大約4.8メートルに達しています。



出展 国土地理院、倉敷市真備町周辺浸水推定段彩図(国土地理院技術資料 D1-No.919)



出展 倉敷市HP 倉敷市洪水・土砂災害ハザードマップ(真備・船穂地区)



# 府中市に起こり得る洪水のリスクを知る

# 水害ハザードマップ

## 想定最大規模の降雨により多摩川が氾濫

●水害ハザードマップ ハザードマップは被害予測図とも呼ばれ、府中市が発行する府中市水害ハザードマップでは想定される最大規模の大雨により多摩川が氾濫し、浸水してしまう範囲と水深を地図に表現しています。自宅や職場、学校等それぞれの場所における浸水のリスクや安全な避難方法、避難場所を事前に確認することで、浸水による被害の軽減につなげていくことを目的に作成しています。

また、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨では鬼怒川の堤防が決壊し、氾濫流が木造家屋の流出や倒壊を引き起こしたため、氾濫流の勢いや河岸侵食によって家屋の流失や倒壊の可能性がある区域も示しています。府中市水害ハザードマップでは、浸水の水深と建物の構造・階層といった諸条件から浸水のリスクや避難のタイミングをフローチャートで確認することが出来るので今一度確認をお願いします。

### 府中市 水害ハザードマップ

Flood Hazard Map of Fuchu City

**洪水に備える3つのポイント**

- 防災情報を積極的に収集しよう!
- 避難のタイミングは自分自身で決めること
- ハザードマップは無くさない

府中市水害ハザードマップは、国土交通省が公表している「多摩川水害多摩川、澁川、大塚川洪水想定区域」を基に、台風や大雨などによって多摩川が氾濫したことを想定して示した図です。

あらかじめ避難方法や避難場所を確認しておき、いざという時に役に立ていただくために作成しました。

府中市ホームページ  
水害ハザードマップページ  
<https://www.city.fuchu.tokyo.jp>

**避難のタイミングを過ぎない**

避難行動指針チェックチャート

- 水害ハザードマップから、自宅や職場の浸水想定の色（浸水深）を確認する。
- 自宅や職場の浸水想定の色と建物の構造から浸水危険度を判定する。
- 危険度による避難準備の想定区域の内外を確認し、自宅や職場の危険度を判定する。
- 危険度に応じた避難行動指針を確認する。
- 危険度に応じた避難行動指針の結果から、避難の注意点を確認する。

**浸水深が0m～2.5m未満の区域**  
1階の床下まで浸水する程度  
木造建築 危険度 C  
鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築 危険度 C

**浸水深が2.5m～3.0m未満の区域**  
1階の床下から1階の天井まで浸水する程度  
木造建築 危険度 B  
鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築 危険度 B

**浸水深が3.0m～5.0m未満の区域**  
1階の天井から2階の天井まで浸水する程度  
木造建築 危険度 A  
鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築 危険度 A

**浸水深が5.0m～10.0m未満の区域**  
2階の天井以上まで浸水する程度  
木造建築 危険度 A  
鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築 危険度 A

**浸水深が10.0m以上の区域**  
3階以上の天井まで浸水する程度  
木造建築 危険度 A  
鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築 危険度 A

**浸水深が10.0m以上の区域**  
3階以上の天井まで浸水する程度  
木造建築 危険度 A  
鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート建築 危険度 A

**危険度による避難準備の想定区域の内外を確認し、自宅や職場の危険度を判定する。**

**危険度に応じた避難行動指針を確認する。**

**危険度に応じた避難行動指針の結果から、避難の注意点を確認する。**

**危険度 A**  
浸水前に立ち退き避難  
浸水後は屋内安全確保

**危険度 B**  
浸水前に立ち退き避難  
浸水後は屋内安全確保

**危険度 C**  
浸水前に立ち退き避難  
浸水後は屋内安全確保

**危険度 D**  
浸水前に立ち退き避難  
浸水後は屋内安全確保

**避難行動指針の結果から、避難の注意点を確認する。**

避難行動指針の結果から、避難の注意点を確認する。

避難行動指針の結果から、避難の注意点を確認する。

避難行動指針の結果から、避難の注意点を確認する。

**多摩川水害想定区域図（想定最大規模）**

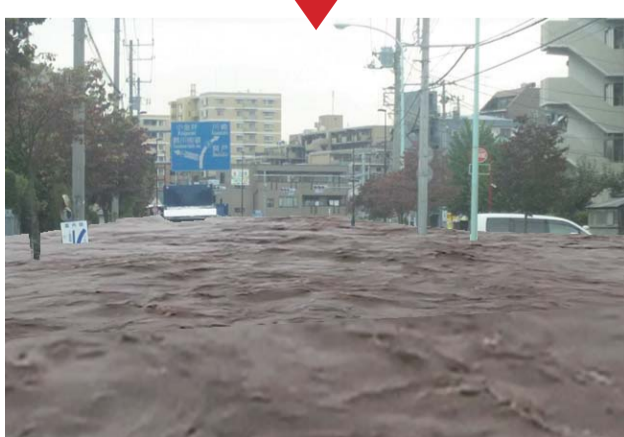
この図は、国土交通省が公表している「多摩川水害多摩川、澁川、大塚川洪水想定区域」を基に、台風や大雨などによって多摩川が氾濫したことを想定して示した図です。

想定最大規模とは、想定最大規模の降雨（想定最大規模の降雨）による多摩川の洪水（想定最大規模の洪水）による浸水（想定最大規模の浸水）を示した図です。

この図は、想定最大規模の降雨（想定最大規模の降雨）による多摩川の洪水（想定最大規模の洪水）による浸水（想定最大規模の浸水）を示した図です。

この図は、想定最大規模の降雨（想定最大規模の降雨）による多摩川の洪水（想定最大規模の洪水）による浸水（想定最大規模の浸水）を示した図です。

検索 **府中市水害ハザードマップ** URL ▶ <https://www.city.fuchu.tokyo.jp/bosaibohan/saigai/2017suigaimappu.html>



▲府中街道を是政橋方面に望む

▲鎌倉街道を開戸橋付近から中河原駅方面を望む

## 水防災意識社会の再構築

過去に大規模な水害が発生した地域の被災者が報道機関からインタビューを受ける際に「この場所に今まで何十年も住んでいるが、こんな災害は初めてです。」といった感想を述べているのをよく耳にすることがあります。

地球温暖化に伴い、大雨の発生頻度や降水量の増加が予想されています。しかしながら堤防や水門など既存の防災施設の能力には限界があります。

「防災施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生する」ということを全ての人が意識して社会全体で水害に備える必要があります。上記の水害ハザードマップによる浸水のリスクや左の合成写真による浸水状況を見ながら多摩川の氾濫により自宅や職場、学校の周辺がどのようなイメージになってしまうのかイメージしておきましょう。

府中市では、自治会やマンション管理組合、学校（PTA）、事業所等を対象に多摩川の洪水に関する防災学習を目的とした防災知識講座を実施しています。

【問い合わせ】防災危機管理課災害対策係 042133514098



# 多摩川の氾濫は予測できる災害

## 防災情報の意味を理解して早めの正しい行動を

### 府中市の避難情報

※府中市メール配信サービス、ヤフー防災速報、エリアメール・緊急速報メール、テレビ等でお知らせ

### 洪水予報

気象庁・国土交通省共同発表

※エリアメール・緊急速報メールでお知らせ

### 多摩川の基準水位

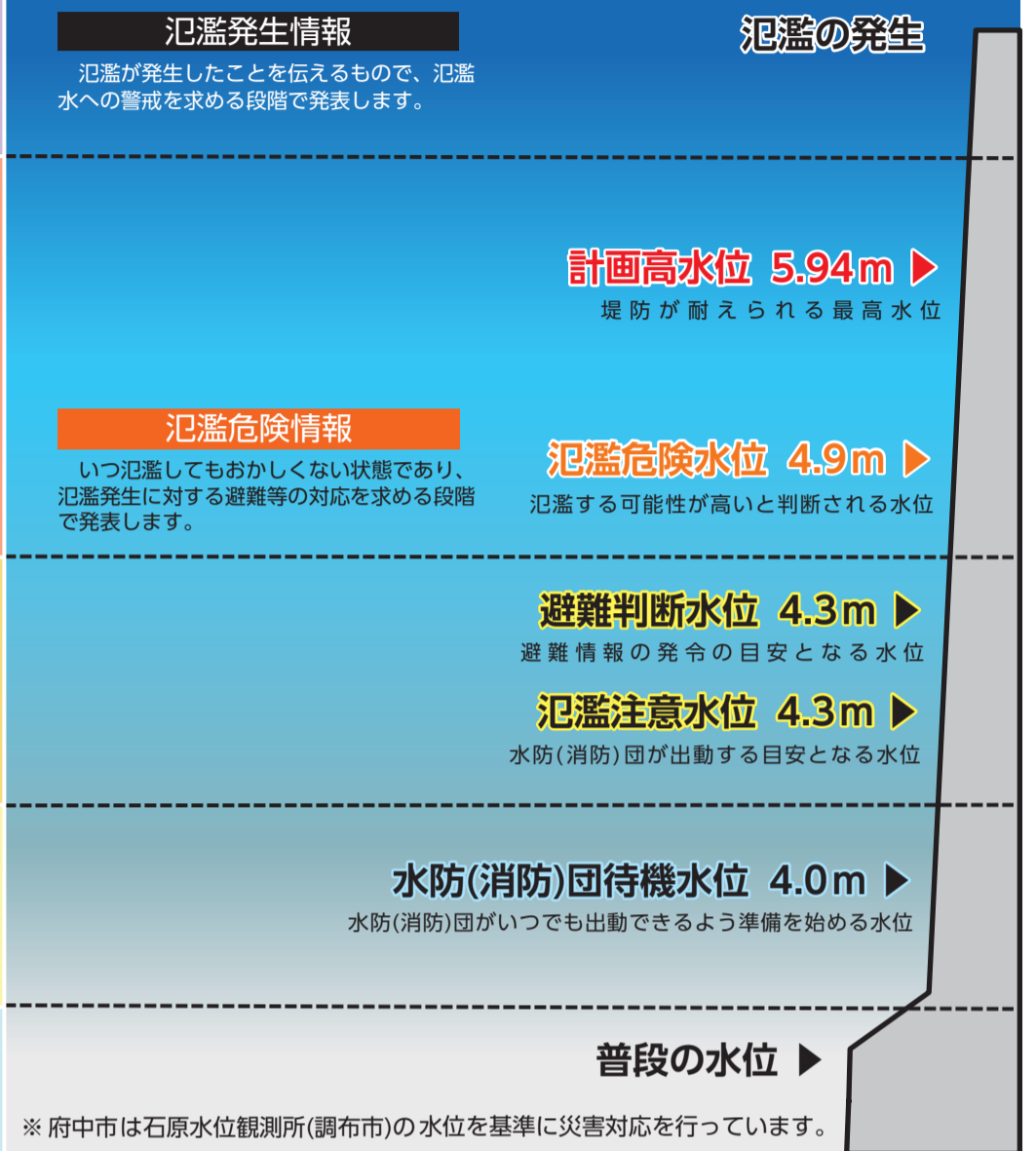
**警戒レベル 5**  
**命を守るための最善の行動をとる**  
**●災害発生情報**  
 既に災害が発生しています。建物の上階に退避するなど命を守るための最善の行動をとってください。

**警戒レベル 4**  
**全員が避難する**  
**●避難指示（緊急）**  
 計画高水位を越えた場合。または、堤防からの異常な漏水や浸食の進行、亀裂、すべり等が確認され、決壊の恐れが非常に高まった場合に発令します。いつ氾濫してもおかしくない状態です。直ちに立ち退き避難を行ってください。事態が切迫しています。  
**●避難勧告**  
 氾濫危険水位を越えて更に水位の上昇が見込まれる場合。または、堤防に亀裂や漏水が確認された場合に発令します。速やかに立ち退き避難を行ってください。

**警戒レベル 3**  
**高齢者等は避難を始める**  
**●避難準備・高齢者等避難開始**  
 避難判断水位を越えて更に水位の上昇が見込まれる場合に発令します。避難に時間がかかる高齢者などは立ち退き避難を開始してください。その他の人は避難の準備を行い、以後の防災情報に注意しながら必要に応じて自主的な避難を開始してください。

**警戒レベル 2**  
**避難行動を確認する**  
**●事前予告**  
 夜から明け方にかけて避難準備・高齢者等避難開始を発表する可能性が極めて高い場合に予告します。避難経路や避難のタイミングを確認してください。

**警戒レベル 1**  
**災害への心構えを高める**  
 大雨や洪水の警報が発表が予想される状況です。最新の防災情報に注意してください。



●水位の上昇に応じて様々な防災情報が発表されます

平成19年9月台風9号の接近時には石原水位観測所で計画高水位を越える6.02mまで多摩川の水位が上昇(右の写真)  
 出展:京浜河川事務所 平成19年9月6日~7日/台風9号「出水概要」



河川には、洪水による水位の上昇に合わせた段階的に洪水の危険度を示す水位が定められています。上の図は多摩川の水位が示す危険度レベルと各レベルに国が発表する情報や府中市が発令する避難情報のタイミングを示しています。なお、府中市が基準とする多摩川の水位観測所(調布市)です。

多摩川の水位などの防災情報は国土交通省京浜河川事務所ホームページから確認することができます。

検索 京浜河川事務所 水位・雨量・海岸

[http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\\_index033.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index033.html)

## 避難情報を確実に受取る

**データ放送の活用**  
 テレビのリモコンにある④ボタンを押すことで利用できるデータ放送は、大雨や台風の勢力・現在位置などを伝える気象情報から地震、洪水、噴火など様々な防災情報を文字情報として伝えるため、聞き逃しや見逃しの心配がありません。また、避難勧告や避難指示、避難所の開設状況などの避難情報や交通情報、ライフラインの状況等についてもデータ放送画面で確認することが出来ます。スマートフォンや携帯電話のワンセグからもデータ放送を確認することが出来るので、停電時やインターネットの通信に障害が発生しても情報を確認することができます。

**エリアメール・緊急速報メール**  
 携帯電話向けの災害情報伝達システムで、市内に所在する「NTTドコモ」「KDDI」「ソフトバンクモバイル」の各キャリア端末へ「緊急地震速報」「特別警報」「災害・避難情報」等の情報が配信されます。避難勧告や避難指示(緊急)などの「災害・避難情報」については市から配信します。(登録は不要です)

**府中市メール配信サービス**  
 あらかじめ登録した携帯電話やパソコンのメールアドレスに、災害に関する緊急情報のほか、犯罪発生、不審者出没、子育てや健康、市の催しなど市政全般の情報を配信しています。

**ヤフー防災速報**  
 Yahoo! JAPANではスマートフォンやタブレットなどで提供するアプリ「Yahoo!防災速報」において府中市が発信する「自治体からの緊急速報」を配信します。災害時や台風接近時等の避難勧告・避難指示などの避難情報

**●携帯電話やスマートフォン等のアプリケーションを活用**  
 や避難所の開設状況、ライフラインの復旧状況が配信されます。  
 ●防災情報をプッシュ通知でお知らせします  
 ●あらかじめ登録した3地点までの防災情報を入手することができます  
 ●GPS機能を活用することで、現在地の自治体の防災情報も入手が可能

**防災情報**  
 河川水位・雨量  
 国立市 府中市 三鷹市 日野市 多摩市 調布市  
 ●●観測所

自治体からのお知らせ

【タイトル】  
 府中市: (洪水)避難勧告を発令しました

【配信時刻】  
 8月1日 19時00分

【本文】  
 8月1日18時50分、多摩川の氾濫による決壊の危険が高まったため、四谷、住吉町、南町、矢崎町の一部(6,543世帯15,789人)に避難勧告を発令しました。

【開設避難所】  
小学校, 中学校

【関連資料】  
<http://>

関連情報を見る

共有する

内容を読み上げる

iPhone向け

Android向け

《スマートフォンでの着信イメージ》



# 多摩川が氾濫に至るまでにすべきこと「タイムライン」

●タイムラインとは  
洪水により川の水位が刻々と上昇し、最終的に堤防が決壊したり越水したりして氾濫することを前提に、国や自治体が発表する情報と想定される災害状況に対して「いつ」「誰が」「何を」するに「着目して表に示したもので、とるべき防災活動の時間の経過ごとに整理することができます。」

●マイ・タイムライン  
マイタイムラインとは多摩川が氾濫する前に安全な場所へ避難できるよ、府中市のタイムラインに合わせ市民や事業所の皆さん一人ひとりが事前に作成しておくものです。

河川の増水に応じて国や府中市がどのような情報を発信し、どのような防災活動を行うのか確認しながら自分や家族にとって必要な準備や行動をとれるようにしておきましょう。安全な場所への移動距離や移動スピードは人それぞれです。自分の家族構成や生活環境を踏まえて水害リスクを把握し、慌てずに逃げ切るためのタイムラインを確認しておくことが重要です。マイタイムラインで自分がおきましよう。

## 家族のマイ・タイムラインを作っておいて洪水時の行動を確認しよう

行政からの情報	赤：府中市 緑：気象庁 青：気象庁・国土交通省（共同発表）	家庭での準備（例）
3～2日前	台風の進路が関東地方に向かっていて！ 台風接近などの注意喚起 市のホームページや安心・安全メールで呼びかけます。	○テレビの天気予報を注意する ○今後の台風の進路を調べ始める ○家族全員の今後の予定を確認する
24時間前	大雨注意報・洪水注意報	○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認する（台風の場合） ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意する
12時間前	大雨警報・洪水警報・暴風警報	○マイ・タイムラインで今後の行動を確認 ○携帯電話の充電 ○避難する時に持っていくものを準備する
6時間前	事前予告 避難準備・高齢者等避難開始を夜間に発表する可能性がある場合	○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認する ○緊急速報メール等で避難準備情報を受信 ○住んでいる所と上流の雨量を調べ始める
5時間前	多摩川の水位 氾濫注意・避難判断水位（4.3m） 避難判断水位を超え、更に水位の上昇が見込まれることが明らかの場合 避難準備・高齢者等避難開始 ○指定緊急避難場所開放（第一次） ○避難所の開設準備（初動班職員出動）	○川の水位を調べ始める ○避難しやすい服装に着替える ○避難の開始を判断する
3時間前	多摩川の水位 氾濫危険水位（4.9m） 氾濫危険水位を超えて更に水位の上昇が見込まれることが明らかの場合 避難勧告	○緊急速報メールで氾濫危険情報を受信 ○安全な所へ移動を始める ○近くの高台への避難を完了
0時間	多摩川の水位 計画高水位（5.96m） 氾濫発生 避難指示（緊急） 氾濫発生情報	○緊急速報メールで避難指示を受信 ○緊急速報メールで氾濫発生情報を受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所へ移動して身の安全を確保する

基準水位：調布石原水位観測所

### ハザードマップでチェック

◆あなたの自宅の浸水深は？  
\_\_\_\_\_ m

◆あなたの自宅の浸水継続時間は？  
\_\_\_\_\_ 時間

◆自宅は家屋倒壊等氾濫想定区域内ですか？  
 はい  いいえ

### 家庭の状況をチェック

◆車はありますか？

◆ペットはいますか？

◆避難に支援が必要な人はいますか？

◆親戚など避難を受け入れてくれる場所はありますか？

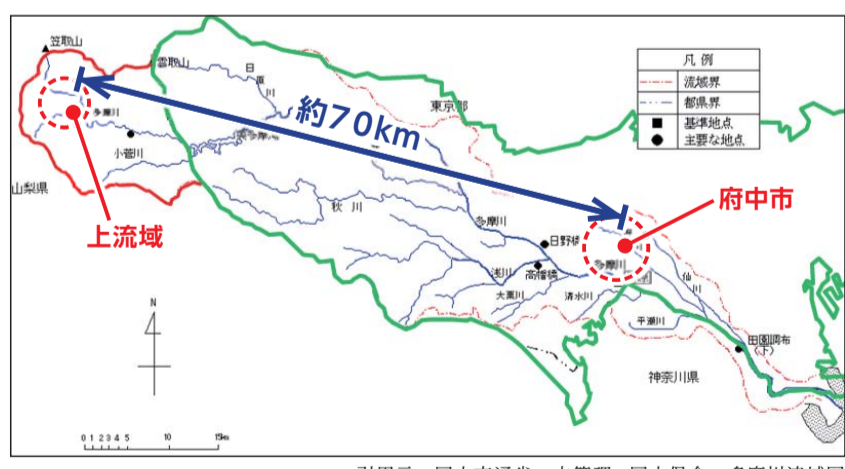
マイ・タイムラインは府中市のホームページからダウンロードできます。

検索 多摩川の洪水に伴うタイムライン

URL  
<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/bosaibohan/saigai/time-line.html>

引用元 国土交通省下館河川事務所 マイタイムライン

## 避難行動を遅らせる要因に気をつける



●多摩川が洪水を起こす要因  
多摩川は山梨県甲州市の笠取山を源流としています。府中市から上流域までは直線距離にして約70kmあり、気象条件も山間部と平野部で大きく異なることから降雨の状況が異なります。多摩川の洪水は上流域における大雨の影響が大きく、市内で降雨がない場合でも水位が急激に上昇して洪水情報や避難情報が発表されることがありますので細心の注意が必要です。

●多摩川ライブカメラ  
早めの避難を判断するためには、洪水により水位が上昇していることを視覚で客観的に確認することが重要です。多摩川を所管する国土交通省京浜河川事務所では、多摩川の10分おきの映像をインターネットで配信しています。この映像とマイ・タイムラインを活用して早めの避難を心がけましょう。

市内では次の3地点に多摩川のライブカメラが設置されています。

- ① 府中市是政 大丸用水堰付近
- ② 関戸橋の下流・多摩市側から
- ③ 京王線鉄橋の上流・多摩市側から

検索 京浜河川事務所 リアルタイム情報

URL ▶ [http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\\_index034.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index034.html)

引用元 国土交通省京浜河川事務所 HP

